

深代惇郎 いさしろ 新聞記者。昭和四年四月十九日東京生れ、五十年十
 二月十七日歿（九一元一七五）。昭和二十八年東京大學生法學部政治學科卒。
 朝日新聞社入社、特派員、社會部次長等を経て論説委員となり、四十
 八年から「天声人語」を執筆。

著書 『深代惇郎の天声人語』（昭和五十一年刊）、『続深代惇郎の天
 声人語』（昭和五十一年五月二十一日朝日新聞社）。



反骨の
ヨメミスト

続 深代惇郎の
天声人語

続 深代惇郎の
天声人語

現代は「重い言葉」を喪失した。*高度成長音楽、に浮かれ続けた暇いだろうか。が、ここでは、それが見事に甦る。深代惇郎は、軽妙な風刺の中にも深い思想を携えて、日々、「重い言葉」の復権を実践した。これは、正統に続いて再び燃える、澄明な文明批評である。

朝日新聞社